

その1

**観光協会の事務所が
移転し、地域の休憩所に**

令和3年4月から、明覚駅舎内と
きがわ町観光協会の事務所が移転され
ました。ときがわ町観光協会は、今ま
で建員会館(西平地内)にありましたが、
今後、明覚駅舎に観光協会の職員が常
駐し、観光案内やレンタサイクルの貸
し出しなどを行います。

明覚駅舎内は、地域のコミュニティ
スペースとして開放され、休憩所とし
てもご利用いただけます。

施設のリニューアルにあたり、3月
28日(日)にセレモニーが開催されました。



3月28日(日)のセレモニーの風景 (写真撮影時はマスクを外しています)

その2

無料自転車置場が完成

明覚駅の隣に、無料自転車置場が完
成しました。32台まで駐輪可能です。
通勤通学の際にはぜひご利用ください。



令和3年 (2021) 明覚駅が開かれる!



平成元年10月号

昭和63年

(1988)

旧明覚駅舎、火災により焼失。

平成元年

(1989)

現在の八角形の待合室付きの駅舎が完成。
JRの協力のもと、設計から施工まで町民
(当時は村民)が携わり、建物・建具一式・
木材に至るまで町内産のものを活用し、町
を象徴する駅舎が完成した。

平成7年

(1995)

明覚駅がグッドデザイン賞を受賞(建築・
環境デザイン部門)。

平成9年

(1997)

「関東の駅百選」第1回選定駅となる。選
定理由は「地元産の丸太で造り、周辺の山
とマッチしたカナダ風ログハウスの駅」。

平成10年

(1998)

明覚駅前周辺整備の事業が完了。道路のロータ
リーの拡幅や、多様な樹木の植栽、木のバス待
合所、児童公園の整備が行われた。

平成25年

(2013)

無人化となる。統計の残る最後の1日平均乗車
人数は2012年で326人。



明覚駅前周辺整備特集号 (広報平成10年5月号)



焼失前の明覚駅舎 (年代不詳)



オレンジ色の車両 (平成6年)